

親の会 1999年(平成11年)10月

第 18 号

まほろ

この子等の幸せを考える親の会
榎の木グループ

事務局

☎ 494-0018 尾西市富田漆畑16番地

TEL/FAX 0586-61-6055

編集責任者： 広報・研修部

待望の生活施設の建設進む

平成12年4月開設予定の(仮称)榎の木寮の建設が急ピッチで進められています。周りの足場がはずされ、その姿がすっかりお目見え致しております。榎の木園から榎の木作業所へ歩いていくと、ちょうど作業所の上(西方)に生活施設が見えます。

去る9月7日にこの子等の幸せを考える親の会の会員50名余の皆さんも、もうヘルメット無しで見学することができました。和室の押入を見て、「服は季節ごとに入れ替えに来た方がいいですね。」とか、浴室の手摺りを見て、「これなら安心して(浴槽に)入れるね」、階段を登りながら、「登りやすい」など賑やか。

また、生活施設の運営や処遇については親の会の生活施設建設準備委員さんと職員の代表が一緒になって話し合っています。地域のいろいろな方が足を運んでいただける開かれた施設になっていくようあつい期待が寄せられています。



生活施設の屋上にあがった見学者の皆さん

(2) 01 (平11対平) 親の会会報

賑わった盆踊り大会

さる8月10日は恒例の櫛の木盆踊り大会が盛大にとり行われました。

夕立の後の午後6時にはお馴染みの三条コミュニティのいぶき太鼓が鳴り響き、あかつき富美寿会先導の踊りの輪がパット広がりました。各種模擬店には尾西市ボランティア連絡会の皆さんが50余名も手伝いに駆け付けて下さり賑わいは絶好調。地元子供会さんは金魚すくいを担当、地元役員の皆さんも綿菓子を担当して下さり、長蛇のお客さんに会も盛り上がりました。来賓席にはお忙しい大島市長さん初め磯野福祉部長さんらも当福祉会の理事長さんと話に花が咲いていました。浴衣姿の利用者の皆さんは親や職員と連れ立って、ゆったりと、踊ったり食べたり、夏の宵を満喫。賑わう人々は道路にもあふれていました。

午後9時、「2000ねんに」という火文字が青く光りを放って消えたところで閉会。すると、待ってくれていたのか、また雨がしとしと降り始めました。皆さん、また来年2000年もどうかよろしく願いいたします。青果市場直送の焼きとうもろこしはおいしかったですか。



盛大におこなわれた盆踊り大会

檜の木コーナー

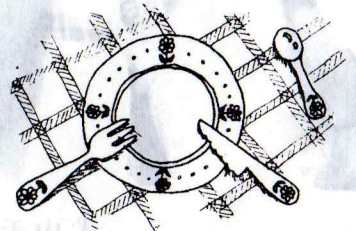
合宿が近付くと…

S子さんは、作業所に登所して、職員の顔を見つけてまず尋ねられることは、「あと何日で合宿?」「あと何日?」「(夕食は)何を作ろう?」と繰り返します。そして「明日はとうとう合宿だね!」、「今日は合宿だ!」。こんなふうに指折り数えて待つ皆さんの大好きな合宿の出来事的一端をご報告させて頂こうと思います。

包丁を持たせると、なんでもみじん切りにしてしまう人、何をやっても嬉しくて笑ってばかりいる人、すぐにテレビを付けたり、カセットテープを掛ける人、事前に打合せた自分の役割を淡々とこなしていく人…、いろいろな人たちがいます。いろいろなタイプの人たちがそれぞれ自分のやり方で少しずつやることに張りや力強さやゆとりのようなものを見せてくれて来ています。なかなか次の行動に移れなかった人が回数を重ねていくうちにスムーズになってきている変化が見られます。そんな彼や彼女と一緒にいられる私はとても幸せな気分になるんですよ。

それと最近ちょっぴり嬉しいことがあります。それは、合宿所のあるグリーンハイツに住んでいるかわいい住人さんとお会いすると「こんにちわ」と大きな声を掛けてくれるんです。近頃ではいろいろなお話もしてくれます。「何才になったよ」、「縄跳びが何回飛べるようになった」「ローラースケートがうまくすべれるようになった」…などなど。そして「明日会おうね!」と笑顔で言ってくれるそんな出会いと会話が生まれているんですよ。でも、視線の多くはまだまだマナーに欠け、やりきれない気持ちに落ちいりそうになりますが、笑顔で会釈!を努めている私です。

皆さんといえば明るく、随分と積極的でたくましくなってくれています。お互いの関係を大切に、相手に対する礼儀や節度もしっかりと身につけてほしいなと願いつつ…今日も合宿は大騒ぎなんです。



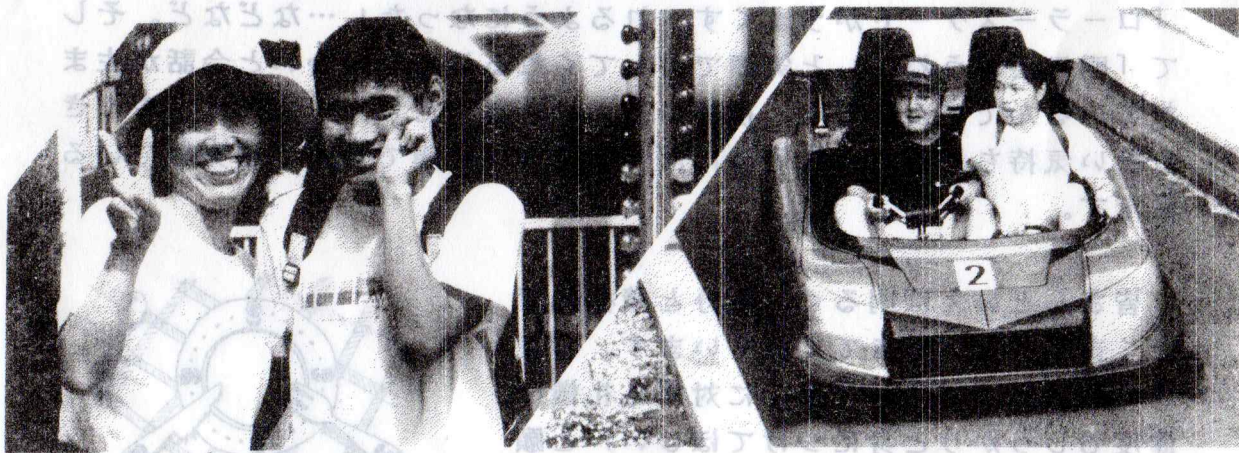
親子遠足に行ってきました

9月11日は、天気予報がはずれてくれ、少し暑いぐらいの行楽日和になりました。今年度は、犬山モンキーパークへの親子遠足に先立つ8月19日にレクリエーション事業部の親子遠足担当7人が下見に行って計画を進めました。総勢90人もの参加者となり、マイクロバス4台で出発。途中一宮タワーパークでトイレ休憩。きれいに整備されており、自販機もあってご満悦。

まもなくモンキーパークに到着するものの、乗り物券の購入等もあって入場に多くの待時間をとってしまう。ようやく入場して、まずあたたかい日差しを受け、ベンチや芝生に三々五々にお楽しみのお弁当を拡げる。会話が弾む。水筒の冷たいお茶に喉も潤う。さっそくジュースやアイスクリームを手に行っている人の笑顔があちこちに。

おさんを見るのが楽しみの方もいましたが、多くの方が遊園地へ。ゴーカートやジェットコースターに乗る元気な人たち、親子でゆっくり観覧車に乗る人たち、生ビールを回し飲みしてちよびり類をあかくしている人たちもいました。秋の一日を楽しむことができました。

こういう企画があれば、普段出無精ですが足をのぼして、みんなでのしめる行楽にいい思い出ができましたが、でもあまりに大勢になりますと小回りがきかないので待時間が多くなります。この点、地域別の行事企画にするなどいろいろな方向に考えて下さればありがたいと思います。



犬山モンキーパークへ行楽のひととき。日傘...で...

きれいな花をいつもありがとう

檜の木作業所の運動場の一角には昨年から花の苗がいっぱい並べられています。檜の木小規模作業所では大きなビニールハウスで苗を育て販売を始めているからです。ところで、さらに施設の玄関に入ると、受け付けの棚にアレンジフラワーが見事に咲き誇っていますし、中へ入って食堂の隣の冷蔵庫の上に目をやると美しい生け花が目に入ります。実はこの花はもう何年になるのでしょうか、尾西市のボランティアグループ環境浄化の会の有志の方が届けて下さっているものなんです。先日の9月21日の日も、「保育園でオアシスに花を生けて来たんですよ…」と3名の方が笑顔で来所して下さいました。玄関や食堂に咲く花が毎日元気に通う利用者の皆さんにもこころなごむうつくしさをきっと届かせてくれていることでしょう。とりわけ雨の多いこの頃では、玄関の傘立ての横に咲く花がほっと一息つかせてくれています。紙面をおかりして、あらためましてきれいな花をいつもありがとう。



尾西市環境浄化の有志の皆さん

そぶえ産業祭

来る10月9日(土)に'99そぶえ産業まつりが、
 祖父江町総合センターで、午前8時40分から午後4時
 30分まで行なわれます。歌謡ショーや移動動物園など
 イベントもあり、もちろん親の会も店舗を出店致します。



来る10月10日(日)に恒例の檜の木運動会が開かれます。
 木曾川河川敷の裕久グラウンドで午前10時開会です。
 プログラム1番はなんとパン食い競争で、子どもも参加でき、お腹も
 満たしてくれます。皆さん、まず、一番の楽しみはさっそくお腹に満
 たしておこうではありませんか!ご来場下さい。

尾西祭り

来る10月23日、24日は第17回尾西まつり。
 檜の木も模擬店を出店致します。親の会の手芸製作品他、金魚すくい
 や綿菓子など盛り沢山です。文化会館の福祉作品展即売会ではお馴染
 み檜の木窯での陶芸作品やウエルカムボードがお目見えすることです。毎
 月行なわれている親の会主催の手芸製作会にはぜひ市民の皆様も
 お立寄り下さい。

